# ふくし 習志野

令和２年（2020年）
1/1 No.160


もくじ


- 被災地支援活動 …… P4～5
- ふくっぴーレポート …… P6
- 支部活動紹介 …… P7

吉祥
来福

２ページから７ページ下には、「平成30年度中学生人権標語コンテスト」優秀作品の一部が掲載されています。
※（　）内は受賞当時の所属・学年です。


企画総務課・地域福祉課 ☎047-452-4161
ボランティア・市民活動センター ☎047-451-7899
ボランティア情報24時間テレホンサービス ☎047-452-3999
在宅福祉課 ☎047-453-3838
さくらの家 ☎047-451-3566

HP http: //www.nashakyo.jp/
習志野市社協 検索
E-mail info@nashakyo.jp

編集発行 社会福祉法人 習志野市社会福祉協議会
〒275-0025 習志野市秋津３-４-１ 総合福祉センター内
電話 047(452)4161㈹ FAX 047(451)8211



令和２年（2020年）１月１日発行（年４回／４月１日、７月１日、10月１日、１月１日発行）この広報紙は共同募金の一部によって発行しています。

# 新年のご挨拶

## 誰もが自分らしく地域で安心して暮らし続けるために

皆さま、あけましておめでとうございます。

年号も昨年５月より「令和」の時代が到来し、心新たに新年を迎えることができることとお慶び申し上げます。

昨年は当協議会創立60周年の節目を迎え、本年は当協議会の「第６次習志野市地域福祉活動計画」及び「第４次習志野市社会福祉協議会発展強化計画」のスタートの年となりました。

“誰もが住み慣れた街で心豊かに自立した生活を継続していくために”「**向こう三軒両隣　困ったときの　ささえあい**」の精神を地域でいかに具現化するかが私共の使命です。

そのため、当協議会では昨年度より認知症の方や障がいのある方が社会で不利益や被害を受けることのないよう、習志野市から委託を受け「成年後見センター」を立ち上げ、事業をスタートさせましたが、今年はより一層充実した事業を展開してまいる所存でございます。

さらに介護保険制度の改正に伴い、平成29年度より「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタートし、地域が介護の担い手となり、支援を進めていくための準備として現在実施している「習志野市認定ヘルパー養成講座」を引き続き開催し、地域で活躍できる人材を養成してまいりたいと考えております。

また、昨年は千葉県内において、９月・10月と２度の大きな台風や、その後の豪雨により、甚大な被害が県内各地にもたらされました。改めて、被害にあわれた皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

当協議会におきましても、県内被災地の災害ボランティアセンターに職員を派遣して現地の運営を支援してまいりました。

毎年のように地震・台風・豪雨などの災害が発生し、全国で甚大な被害をもたらしておりますが、言うまでもなく、災害はいつどこで発生するか分かりません。

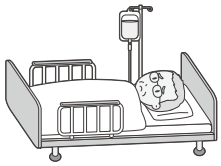
そのために当協議会としては毎年「災害ボランティアセンター」の立ち上げ・運営訓練を実施しており、大規模災害発生時には速やかにボランティアを派遣できるよう準備をしております。

本年も、当協議会の活動に対し、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健康とご多幸を心より祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

習志野市社会福祉協議会　会長　海寶 嘉胤

# 悩みごと、心配ごとがありましたら、ご相談ください。

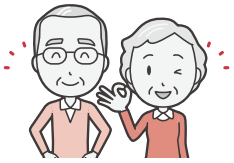


お金のことで困ったときは…

**まずは社協へ**
**ご連絡ください**

困っていることをお伺いし、情報提供や必要なサービスの紹介をします

安心な暮らしのお手伝い！



## 例えばこんなとき…

- 失業により生活が苦しい
- 進学したいけど資金が…
- 病気で入院してしまい治療費がかかる

### 生活福祉資金貸付制度

低所得・障がい者世帯等を対象に、生活の立て直しや経済的自立等を図ることを目的とした事業です。

民生委員が完済に至るまで相談支援を行ないます。他制度優先・所得基準を設けており、貸付にあたっては千葉県社協の審査があります。

一人暮らしの母の
お金の管理が心配

### 福祉サービス利用援助事業

福祉サービスを利用するための手続きや日常的な金銭管理を代行するサービスです。高齢の方や障がいのある方で、契約内容を理解できる方が対象です。地域で安心して暮らすことができるようお手伝いします。

- 家族のこと
- 自分自身のこと
- 子育てのこと　など

ゆっくり話を聞いてもらいたい

### 心配ごと相談所

「どこに相談にすればいいのかわからない」と悩まずにお気軽にお越しください。心配ごと相談員が相談に応じ、必要によって関係機関を紹介しています。

一人で悩んでいることも、話すだけで気持ちが楽になるかもしれません。

**その他にも…**　社協では、子育てサロン、車イスの貸出、福祉車輌の貸出、ボランティア相談なども行なっています。詳しくはお問合せください。
※利用するには条件のあるものもあります。

【問合せ】社協 地域福祉課 ☎047-452-4161

## 利用しやすい施設をめざし、指定管理者である社会福祉協議会が運営しています。

### 老人福祉センター さくらの家

**利用できる方**　習志野市に住所を有する60歳以上の方
**利用時間**　午前9時～午後4時
**利用料**　無　料
**利用施設**　大広間、多目的ホールなど
**お風呂**　午前10時～午後3時
※土曜日は、午後2時まで
※洗面用具をお持ちください。
**休館日**　日曜　祝日　年末年始
**利用方法**　利用券（利用登録）が必要です。身分証明書（健康保険証、運転免許証など）をお持ちのうえ、さくらの家事務所へお越しください。なお、利用券発行にあたり、身内の方のご連絡先を緊急連絡先としてお伺いします。
**問合せ**　さくらの家 ☎ 047-451-3566

### 地域福祉センター いずみの家

**利用できる方**　地域福祉活動を推進する団体
**利用時間**　午前9時～午後4時
**利用料**　無　料
**利用施設**　研修室　会議室　和室　集会室
ボランティア室　ボランティア情報コーナー
栄養指導実践室　録音室
**休館日**　日曜　祝日　年末年始
**利用方法**　施設利用の申請は、利用希望日の属する月の3カ月前より受付けます。（例：4月利用希望の場合、1月より利用申請を開始）
**問合せ**　いずみの家 ☎ 047-452-4161
地域福祉活動の場として、打合せや研修会に、ボランティア活動の集まりにぜひご利用ください。

**新年は、さくらの家・いずみの家ともに1月6日（月）より開館です**

## 新春写真展
### 写真の力～新しい時代～～

**日時：令和2年1月6日（月）～15日（水）**
**場所：さくらの家ロビー**
どなたでもご覧いただけます。
ぜひお越しください。

## 第22回 さくらまつり
### ～サークル活動の発表会～

**3月6日（金）午前10時～午後3時30分**
**3月7日（土）午前9時30分～午後3時**

さくらの家で日々活動されているサークルの皆さまが、様々な工夫を凝らした発表・作品展示を行ないます。
どなたでもご観覧いただけます。お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

太極拳サークルの発表

### 3月6日（金）

オープニングセレモニー
フラダンス・太極拳
茶道・カラオケ

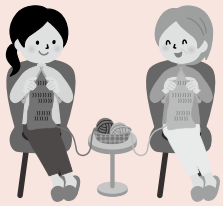
編物サークルによる展示・販売

### 3月7日（土）

フォークダンス
社交ダンス・大正琴
着付け・民謡

### 展示（両日）

写真・書道・パッチワーク
編物・絵手紙
手芸ボランティア・花の実園



# 令和元年台風15号、19号、10月25日からの大雨による災害ボランティアセンターの運営支援にあたって

**令和元年９月に発生した台風15号、10月に発生した台風19号、10月25日からの大雨により、千葉県内各地においては甚大な被害をもたらしました。被災にあわれた皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。**

**当協議会においては、千葉県社協からの要請を受け、県内被災地である木更津市・南房総市・館山市・茂原市・長柄町のそれぞれの災害ボランティアセンター（以下、災害VC）の運営支援に７名の職員を延べ24日間派遣しました。その活動内容の一部について報告いたします。**

## 木更津市　南房総市　館山市

### 被災された住民の思いを胸に

企画総務課　河道　清人

私は、９月15日（日）に木更津市、９月26日（木）に南房総市、そして10月17日（木）～18日（金）には館山市とそれぞれの災害VCの運営支援に携わりました。

高速道路を降り現地周辺を見渡せば、倒壊した建物が多くあり、倒木やガレキの山が広がっている状況でした。また、停電やその影響による断水など、被災地域の住民はライフラインの確保が十分でなく苦しい状況にあったことと思います。そのような状況の中、いずれの災害VCでも、ボランティアの依頼内容は壊れた屋根のブルーシート張りの依頼が大半を占め、その他、屋根瓦などのガレキや家財等の撤去・運搬などが主だったものでした。

しかしながら、南房総地域を中心に千葉県内の広範囲で台風被害を受けたこともあり、それぞれの災害VCの運営状況ではボランティアの人数が足りていない状況が続いていました。

また、今回の災害ボランティアにおいては「屋根のブルーシート張り」の依頼が多かったのですが、危険な作業を伴うため、高所作業の経験者でないと対応できないという実態がありました。

今後も地震や風水害など自然災害は避けては通れない中、課題としては、さまざまなボランティアニーズを想定し対応していかなければならないと実感するとともに、長い道のりになることと思いますが被災地域の住民が笑顔を取り戻せるよう、丁寧な支援をすることの重要性を再確認しました。

資材

ボランティアの受入状況

## 南房総市　地域の笑顔のために

企画総務課　藤森　淳

９月18日（水）南房総市災害VCへ運営支援に行ってきました。

当日は雨天だったので、安全確保のため午前７時にボランティア受付の中止を決定しました。被災者のニーズ受付は雨天でも行なうため、私は電話でのニーズ受付を担当しました。災害VCの開所時間は午前９時からでしたが、開所前から電話は鳴り続け、受付開始の午前９時より午後３時までボランティア受付専用の３台の電話は、被災者からのボランティア依頼の電話で途切れることなく続きました。

私が電話対応できたのは約30件、破損した屋根等へのブルーシート張りの依頼が約８割、被災ゴミの片付け・運搬の依頼が約２割と実際の声を聴き、台風被害の大きさだけでなく、被災された地域住民の方にとって、災害VCの必要性や役割の重要性を改めて実感しました。

## 南房総市　One for all. All for one.

事務局主幹　長尾　一輝

私は南房総市災害VCの運営支援に行ってきました。

現地では、災害VCのマッチング班として、被災者のニーズと災害VCに来所されたボランティア活動者とを組み合わせる支援を行ないました。

ボランティア依頼は、屋根のブルーシート張り、家財道具の運び出し、災害ごみの集積所までの運搬が多く寄せられました。一般ボランティアの方は、被災した方のご自宅に訪問し、災害ごみの運び出しや、ごみ集積所までの運搬を行ない、屋根のブルーシート張りについては、安全対策の専門家や高所作業の経験者が行なっていました。

私自身、運営支援で心掛けたことや感じたことですが、まず、ボランティア活動者に積極的に声かけし話すこと。気持ちよくボランティア活動が出来るよう送り出しをすること。そして、ボランティア活動者へ感謝の気持ちを忘れずに接することでした。

地元の住民の方をはじめ、何度も足を運びボランティア活動に従事して下さる方も多く、このマンパワーが南房総市の復興を確実に進めていくんだと、肌で感じさせていただきました。

私自身も、微力ながら今後も復興支援に協力できればと思っています。

## 南房総市　長柄町　できる時に、できる支援を！

地域福祉課　栃木　綾子

**南房総市災害VC**

房総は何度も遊びに出かけていた場所で、初めて支援に入った９月19日に、多くの家にブルーシートが掛かっているのを見た時は、とても心が痛みました。

主にマッチングや、被災者からの依頼がボランティア活動者で安全にできる依頼かどうかや何人位のボランティア活動者が必要か、どんな資機材が必要か等を確認する現地調査を行ないました。

**長柄町災害VC**

朝は受付班でボランティア活動者の受付を行ないました。支援に入った日は雨が降っており寒かったので、なるべく簡潔に行ない、室内で待機してもらえるように心がけました。

災害VCの閉所を見据えていた時期でもありましたので、午後からは、被害状況や健康等の声掛けしながら地域にチラシを配りました。

私自身、災害救援活動を支援するボランティア団体の『千葉レスキューサポートバイク』（以下、千葉RB）に所属しており、南房総市や鴨川市、茂原市、佐倉市、千葉県の災害VCで活動した日もありました。

10月20日に千葉RBとして、南房総市災害VCの運営支援に入り、現地調査に伺ったお宅で、現場判断で土砂かきを行ないました。敷地内の裏山が台風19号の雨で崩れ、用水路をふさいでしまっていました。土砂は片付けましたが、再び雨が降れば崩れてしまいそうな状況でした。

10月25日に大雨が降り、翌26日に社協派遣職員として再び南房総市災害VCの運営支援に入りました。南房総市社協職員と一緒に現地調査に数件伺いましたが、その中の１件が20日に土砂かきしたご自宅でした。ご主人にお会いすると、先日の土砂かきの時のことを覚えていてくださいました。

災害VCの配置図

災害VCもまた、人と人をつなぐところです。今回の活動を通して、たくさんの方にお会いすることができました。そして、たくさん学ばせていただきました。

これからも、できる範囲で活動支援していけたらと思っています。

考えて　自分のことに　おきかえて（四中２年　斎藤　華奈）

## 南房総市 茂原市 信じて、応援します

事務局次長　廣瀬　淳一

私は南房総市災害 VC 及び茂原市災害 VC の運営支援に入りました。
９月から 11 月にかけて延べ８日間、主にセンタースタッフとして、ボランティアの受付、ボランティアの送り出しの連絡などを行ないました。

### 南房総市災害 VC

活動内容は、①瓦礫や使えなくなった家財道具の撤去、支援物資・被災ごみの仮置き場での仕分けや運搬活動、被災者への支援。②被災ごみ（災害廃棄物）の運び出し、仮置き場までの運送。③屋根上ブルーシート張り。（被災地等で安全対策をしっかりしながら高所作業をサポートされている方が対象）です。
運営支援では、ボランティアの皆さんに気持ちよく活動していただけるよう、明るく、元気に声かけをすること、センターのスタッフの皆さんと連携を図りながらセンター運営支援の一助となるよう、心掛けてきました。
９月に、ボランティアとして被災ごみの運搬や、10 月に依頼者宅の現地確認のため、南房総市内を回りました。市内を見回ったときに、多くの家でブルーシートがかかっている様子を見ながら、被害の大きさを改めて感じました。
また、運営支援での楽しみが昼食でした。ボランティアの方が、お米を炊き、おかずをたくさん準備してくださり、美味しく楽しく食事をすることができました。「食べることは大事なことよ」おいしいご飯を食べることで午後からの活動も気力が湧いてきました。ありがとうございました。
これからも、南房総市社協が南房総市の復興に向けて支援を続けていかれることを信じて、習志野市から応援します。

### 茂原市災害 VC

活動内容は、マッチング班として、主に依頼者のお宅へ、これからボランティアが伺うため、在宅確認の連絡を行なっていました。休日には、多くのボランティアの方々が来てくださいました。タンスなどの家財道具の運び出しやその後の掃除などの依頼が多かったです。運営スタッフも職員だけでなく、多くのボランティアスタッフにより運営されていました。センター運営の手際のスムーズさが印象に強く残りました。

## 災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練

習志野市社協では、今回の被災地での活動経験を活かし、「習志野市社協災害時初動マニュアル」及び「習志野市社協災害ボランティアセンター運営マニュアル」の改定及び策定に重点的に取り組んでいきます。
それに伴い、毎年実施している「災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練」については、今年度はマニュアルの検証を目的とすることから、参加者を募らず、当協議会職員のみで実施することといたします。ご了承ください。

# 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金の御礼

赤い羽根共同募金の 70% は市内の地域福祉に、30% は県内の福祉施設等に役立てられます。歳末たすけあい募金は、全額市内の地域福祉に役立てられます。皆さまの温かいご協力をありがとうございます。

**【街頭募金】**
千葉県共同募金会習志野市支会役職員
（令和元年 10 月１日　イオン津田沼）

**【街頭募金】**
ガールスカウト千葉 34 団の皆さま
（令和元年 10 月６日　JR 津田沼駅）

**【イベント募金】**
ボーイスカウト習志野第２団と
共同募金ボランティアの皆さま
（令和元年 10 月 27 日　福祉ふれあいまつり）

千葉県共同募金会習志野市支会

### 赤い羽根共同募金の使いみち

**令和元年台風 15 号・19 号による**
**被災地の復興支援にも使われています。**

被災地・被災者が元の暮らしを取り戻すためには、息の長い支援が必要です。**赤い羽根共同募金**では、災害ボランティアセンターの運営など、被災時の緊急支援活動のほか、日頃の地域のつながり強化や防災に向けた取組みにも支援を行なっています。

# ふくっぴー レポート

はーい、ボクふくっぴー。
今回は高齢者施設で利用者の傾聴活動を行なっている「習志野傾聴ボランティア『こころ』」の活動に参加してきたよ。

## ボランティアグループ「習志野傾聴ボランティア『こころ』」の活動をふくっぴーが紹介します。

「傾聴」とは相手の話を否定しないで聴き、その内容を受け入れる行為だよ。

高齢になり、自分の思うように体が動かせなかったり、認知症になると不安な気持ちを抱くようになるんだ。そんな思いにも寄り添うことが重要なんだ。話し手が自分の思いを語ることで、心が軽くなることがあるんだよ。

「習志野傾聴ボランティア『こころ』」は習志野市ボランティア・市民活動センターが主催する傾聴ボランティア養成講座を受講した参加者がグループを結成したんだ。現在は会員 32 名が 6 組編成で、市内 6 つの高齢者施設を訪問し傾聴活動をしているよ。

11 月のある日の午前中のこと。「こころ」の 3 人のメンバー達は、秋津にある「ゆいまーる習志野デイサービスセンター」を訪問したんだ。施設職員の「おはようございます」に始まり、懐かしいメロディーが会場に流れる中、メンバー達は 6 名の利用者に対して代わる代わる向き合って傾聴をしていたよ。

定例会の様子

活動先での様子

利用者の子どものことや、孫の話。それから昔話や趣味のことなど様々な話を終始にこやかにしていたよ。また、利用者に疲れがみえてきた時は、静かな時間を共有している姿もあり、微笑ましく感じたよ。滞在時間は 1 時間ほどだけど、利用者さんも話したいことを話せて、ホッとした様子。

「自然なおしゃべりができるようになるためには、何回か回数を重ねることも必要」「こちらが構えると相手にも伝わるので、なるべく自然体でいたいですね」と代表の内山等さんは言っているよ。

月 1 回の定例会を開催し、活動の幅を広げるためにメンバーで情報交換を行なっています。ご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

**活動日時**　定例会毎月第 4 水曜日（総合福祉センター）
**問 合 せ**　ボランティア・市民活動センター
☎ 047-451-7899
習志野傾聴ボランティア「こころ」
会長　内山 等

## 地域福祉へのご寄付ありがとうございました

**令和元年 8 月 1 日～令和元年 10 月 31 日（敬称略）**

**金銭寄付**

（故）織戸博次　長谷川誠一　米原大右　イトーヨーカドー労働組合津田沼支部　新鮮市場マルエイ新習志野店
日本総合住生活株式会社千葉西支店　ボートピア習志野（株式会社ビー・ピー施設）

**令和元年台風 15 号・台風 19 号・大雨千葉県災害義援金**

屋敷連合町会　谷津健康麻雀教室

**物品寄付**

石丸善康

平成 31 年 4 月から令和 2 年 2 月末日までに一般会費・特別会費、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力をいただいた方々のお名前は、令和 2 年 4 月 1 日発行の臨時号に掲載します。



差別ゼロ　そしてつながる　世界の輪（一中 2 年　熊田　陽人）

# 社協支部活動紹介

社協支部では、在宅のひとり暮らしの高齢者に対し、地域の実情に合わせたふれあい型の食事サービスを年８回実施しています。
また、地域のさまざまなイベントで活動しています。

## 東習志野支部

場　所　東習志野コミュニティセンター3階(東習志野3-1-20)
問合せ　東習志野支部　☎ 047-493-0449
(開所日時　毎週火･木･土曜日　午前10時～午後4時)

秋も深まり、風が冷たく感じられる 11 月の初旬。今日はひとり暮らしの高齢者を対象とした『ふれあい食事会』です。

東習志野コミュニティーセンターでは、地域の協力員の活気に溢れた声が朝早くから広がり、手際よく『ふれあい食事会』の準備を進めています。この日の昼食メニューはタラの唐揚げ、野菜の白和え、里芋の煮っころがし等、彩り良くバランスを考えた手の込んだものばかりです。

協力員のＨさんは、「『ふれあい食事会』に参加される方が、自分たちが作った食事を美味しい美味しいと残さず食べてくれることがとても嬉しい。また、地域の方と一緒に食事の準備をしたり、話をすることが楽しい。」と話してくださいました。

会場には次々と参加者が集まり始めます。開会 30 分前には、たくさんの参加者がロビーで『ふれあい食事会』の受付が始まるのを待っていました。

参加者の受付をしている協力員のＳさんは、「参加される方はいつも開会時間よりも早く会場に来てくれ、『ふれあい食事会』を楽しみにしてくれているんだと感じます。受付する時に、参加者が帰るとき靴を間違えないように、自分の名前を書いた札を靴に置くんですよ」と話してくださいました。

参加者の方々からは、「普段は一人で生活しているけど『ふれあい食事会』に来ることが楽しみです。

ここに来れば地域の人たちといっぱいお話しできるし、おいしい食事を地域の人と一緒に食べられて、気持ちが明るくなります」と話してくださいました。

開会後、東習志野連合町会長の挨拶に始まり、その後、町会内の芸達者な方々の踊りやハーモニカ演奏の披露、そして参加者全員で歌を歌い楽しんでいます。食事をしながら参加者の交流を深め、心暖かく楽しい『ふれあい食事会』でした。


知らないと損！？介護に手厚いサポート

# 全国福利厚生共済会のご案内

ケアマネさん必見！

オススメ理由

1. 介護保険、福祉用具レンタル代の自己負担分（1割）が無料になる。
2. 福祉用具・機器の購入割引、介護保険外レンタルを特別価格でご提供。
3. 介護福祉・医療に関してご相談頂ける年中無休のコールセンターが無料でご利用可能。
4. 個人賠償責任保険に自動加入。誤って他人にケガをさせたり、水漏れをおこしてしまったり、買い物先で高級商品を壊してしまったりしたときの賠償を上限5億円でカバーできる。

23万人以上 会員急増中！ ※2019年11月現在

・上記サービスはほんの一例です。
・加入者の家族親族3親等内までカバーします。

詳しくお聞きしたい方は　モナークケア 小澤まで(始業1月6日より)
TEL.0120-079-315

## 介護用品レンタルを利用する際に気を付けたい 3つのポイント とは？

Point 1　介護を効率的にするうえで適切なものか
Point 2　利用者本人のニーズに合ったものか
Point 3　殺菌などの衛生面は大丈夫か

## 介護用品のレンタル・販売

モナークケアでは、適切な介護用品を提案することによって、介護者・被介護者共に快適な暮らしの実現のお手伝いをしています。

介護保険利用
月々のレンタル料 800円～

介護保険利用
月々のレンタル料 400円～

介護保険利用
月々のレンタル料 300円～

TEL.0120-079-315
有限会社モナークケア
mail@monacare.jp
モナークケア で検索
即日納品可！　土日納品可！

地域のボランティア活動を企業が応援しています！

## 第13回 Suzuki Garphyttan Award（スズキガルピッタンアオード）（日鉄SGワイヤ地域社会貢献賞）

活動援助資金
団体30万円
個人10万円

Suzuki Garphyttan Award（地域社会貢献賞）は、日鉄SGワイヤ㈱（旧社名　鈴木金属工業㈱）が、平成20年に創立70周年を記念して地域ボランティア活動の発展に寄与することを目的に創設しました。

**応募者募集**

社会福祉協議会では、地域福祉推進を図るために市内で社会貢献活動をしている団体または個人を公募のうえ、選考委員会で1団体または1個人を選考します。募集要項は社協ホームページにも掲載しています。

**申込み期間**　令和2年1月15日（水）から2月28日（金）まで

**問合せ・連絡先**　社協 企画総務課 ☎047-452-4161

## 令和2年新春賀詞交歓会

当日直接会場へ どなたでも参加できます

新しい年の幕開けに際し、習志野市に集うあらゆる分野の人々の出会いと交流の場です。自由にご参加いただけますので、お誘いあわせのうえご来場ください。

※ご来場の際には、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

**日　時**　1月9日（木）午前11時30分より（受付午前11時～）

**会　場**　習志野文化ホール　ホワイエ

**会　費**　4,000円（当日会場にて）

**内　容**　雅楽演奏、お楽しみ抽選会ほか（軽食あり）

**主　催**　習志野市、習志野商工会議所
習志野市社会福祉協議会

**問合せ**　社協 企画総務課　☎047-452-4161

向こう三軒両隣 困ったときの ささえあい

## 「住民参加型家事援助等サービス事業」の協力員大募集!!

社協各支部では、“向こう三軒両隣 困ったときの ささえあい”の精神で「家事などの住民のお困りごと」を住民同士のつながりで解決を図る『住民参加型家事援助等サービス事業』を実施しています。

『住民参加型家事援助等サービス事業』の協力員を募集しています。

**募集支部**　谷津、鷺沼台、大久保、実籾、香澄、秋津、袖ケ浦、本大久保の各地区の社会福祉協議会支部
※上記募集支部以外の地域で協力したいという方も併せて募集をしています。お気軽にご相談ください。

**内　容**　専門的な技術や資格を要しない「家事などの支援」

**活動時間**　1回の訪問につき1～2時間程度（支部によって活動報酬は異なります）

**申込み・問合せ**　社協　地域福祉課　☎047-452-4161

## ふくっぴー★クイズ★

**Q 問題だよ！**

**「相手の話を否定しないで聴き、その内容を受け入れる行為」のことを何というのでしょうか？**

**①傾聴　②広聴　③伝聞**

答え・郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を書いてハガキ、FAX、Eメールのいずれかで1月31日（金）（消印有効）までに応募してね。

正解者のうち抽選で5名様に、『ふくっぴーピンバッジ』をプレゼント！正解及び当選者は「ふくし習志野」4月1日号で発表するよ。

**【前号の正解と当選者】（敬称略）**

《正　解》②消費生活センター
《当選者》関諒佳　田中良子　美濃律子

## 編集すんで、夜が明けて…

あけましておめでとうございます。「令和」になり、初めてのお正月を迎えました。

昨年も自然災害が多く、千葉県内においても台風15号・19号、さらには10月25日からの大雨の影響により、甚大な被害がもたらされました。今後も自然災害を避けることはできない状況の中、いかに自然と共存していくかが地球規模の最重要課題であることは間違いありません。

「私たちはあなたたちを見ているということです」で始まるスウェーデンの環境活動家の少女 グレタ・トゥーンベリさんの国連の温暖化対策サミットでの“怒りの”スピーチはとても印象的でした。

世界中の事象を「我が事」と考えられる人々が少しでも増えれば、もっと平和で安全な世の中になるのではないでしょうか。　(K)